

【国語／小説】

～ClassPad.netの各種ふせん、同時編集機能を活用する～

知識を身につけ、深い理解を促進する授業

語彙や周辺知識を活用し、作品に込められた主題の深さに迫る。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：作中に何気なく出てくる言葉が、実は作者によって周到に用意されたものであることに気づかせ、小説の面白さと奥深さを味合わせる。

生徒向けの目標：グループごとの共有・話し合いを経て行った読解が、作品に込められた深い思想への入り口にあたることを体験し、今後の読解活動への一助とする。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・板書時間削減：事前に作成したデジタルノートを電子黒板やプロジェクターに映すだけで授業を進められるので、グループワークや解説などに、十分な時間を確保できる。
- ・生徒の集中力アップ：要所に同時編集機能を用いたグループワークや、リンクふせんを利用した動画視聴を用意し、難しい内容にも集中力を切らさず取り組ませることができる。
- ・協働学習促進：グループワークにおいて同時編集機能を活用することで、手間をかけずに意見の共有や集約が可能になり、話し合いに多くの時間を取れる。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

step1

（人）人物像から、小説の主題に迫ろう！

◆授業の流れ

①前回は、表面の面に注目して読んだ。今回は、裏面に注目して読もう！

②「下人」の人物像を読み取りながら、その人物像が描かれている場面を振り返る。その場面から、その人物像の性格や、その人物像の役割を推察する。

③「下人」の人物像を読み取りながら、その人物像が描かれている場面を振り返る。その場面から、その人物像の性格や、その人物像の役割を推察する。

④「下人」の人物像を読み取りながら、その人物像が描かれている場面を振り返る。その場面から、その人物像の性格や、その人物像の役割を推察する。

⑤「下人」の人物像を読み取りながら、その人物像が描かれている場面を振り返る。その場面から、その人物像の性格や、その人物像の役割を推察する。

⑥「下人」の人物像を読み取りながら、その人物像が描かれている場面を振り返る。その場面から、その人物像の性格や、その人物像の役割を推察する。

⑦「下人」の人物像を読み取りながら、その人物像が描かれている場面を振り返る。その場面から、その人物像の性格や、その人物像の役割を推察する。

⑧「下人」の人物像を読み取りながら、その人物像が描かれている場面を振り返る。その場面から、その人物像の性格や、その人物像の役割を推察する。

⑨「下人」の人物像を読み取りながら、その人物像が描かれている場面を振り返る。その場面から、その人物像の性格や、その人物像の役割を推察する。

⑩「下人」の人物像を読み取りながら、その人物像が描かれている場面を振り返る。その場面から、その人物像の性格や、その人物像の役割を推察する。

概要の説明

（前回までの授業で、「羅生門」の特徴的な表現の解説が終わっている状態）
今回は「下人」の人物像に注目しながら読むことで、通説とされている作品の主題に迫ることを説明する。

step2

（下人）の人物像グループA

（前回は）表面の面に注目して読んだ。今回は、裏面に注目して読もう！

（前回は）表面の面に注目して読んだ。今回は、裏面に注目して読もう！

（前回は）表面の面に注目して読んだ。今回は、裏面に注目して読もう！

（前回は）表面の面に注目して読んだ。今回は、裏面に注目して読もう！

（前回は）表面の面に注目して読んだ。今回は、裏面に注目して読もう！

（前回は）表面の面に注目して読んだ。今回は、裏面に注目して読もう！

（前回は）表面の面に注目して読んだ。今回は、裏面に注目して読もう！

（前回は）表面の面に注目して読んだ。今回は、裏面に注目して読もう！

（前回は）表面の面に注目して読んだ。今回は、裏面に注目して読もう！

（前回は）表面の面に注目して読んだ。今回は、裏面に注目して読もう！

グループによる読解・発表

クラスをいくつかのグループに分け、「下人」の人物像を読み取らせる。その際、本文からその人物像が読み取れる部分を記載させ、論理的に読み取ったものであることを示すよう指示する。

いくつかの人物像を記載できた頃合いを見て、各グループに読み取った内容を発表してもらおう。教師は、適宜質問や補足を加え、生徒をサポートする。

そして、複数のグループに共通して出てきた人物像に焦点をあて、その場でまとめていく。

事前に提出用のテキストふせんを用意しておき、授業支援機能で各グループの代表に送信する。そして同時編集機能により、共有したテキストふせんに読み取ったことを記載させる。

発表の際は、グループで記載したテキストふせんを電子黒板やプロジェクターで投影しながら説明させる。共通する人物像をまとめる際は、教師がその場で新たなテキストふせんを作り、投影した状態でまとめていく。

